

青木プロジェクト KGRIにおける シャットダウンシンポジウム 国際感染症対策のこれから

これまで、G-Secの竹内プロジェクトから引き継いだ、青木プロジェクトがこれまで警鐘を鳴らし、対策を提案を続けてきたグローバルヘルスセキュリティの向上ですが、警告も実らず、新型コロナウイルスによる肺炎が、中国でアウトブレイクし、世界中に広がっている今日この頃ですが、残念ながら、青木プロジェクトのKGRIにおける活動は打ち切りに決まりました。以後は法務研究科に移管されます。

この打ち切りに際し、これまでのG-Sec、KGRIでの活動をふり振り返り、今般のコロナ肺炎が一日も早く終結することを願いつつ、今後の感染症対策の一助にすべく、本ミニシンポジウムを企画致しました。会場の関係から、ミニシンポジウムにならざるを得なかったことをお詫び申し上げます。

事前登録制

<日時> 2020年3月4日 14:00～17:30

<場所> 慶應義塾大学三田キャンパス 南館4階会議室

<定員> 30名程度を予定しております。

<プログラム>

1. 14:00～14:30

これまでの本プロジェクトの活動とKGRIでの活動打ち切りの経緯と法務研究科への移管後の予定

慶應義塾大学 青木節子

2. パネルディスカッション

テーマ：新型コロナウイルスアウトブレイクより考察される今後の感染症対策のあり方

パネラー

慶應義塾大学

バイオシュート株式会社

慶應義塾大学

慶應義塾大学

青木節子

横手公幸

森本正崇

宮田善之

メールで登録すればどなたでも参加できます。(yomiyat@keio.jp)

本シンポジウムはキャノンメディカルシステムズ様と松下善輔様のご支援で開催しております。